

# 地域活性化の源・日沿道延伸!!



5月22日に行われた中心杭設置式

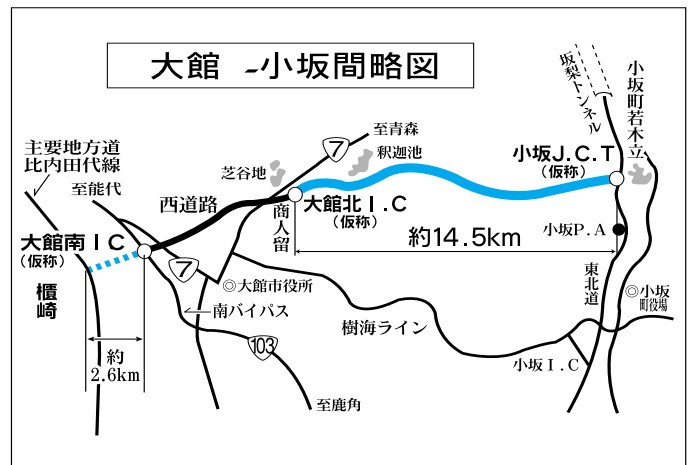


## 大館南I.C. 付近

国土交通省による大館西道路の事業計画では、櫃崎から商人留までの8・8 kmを、日沿道の一部となる国道7号の自動車専用道路として整備するものです。

平成10年12月には、大館南インターチェンジ 釈迦内間(4・6 km)が供用開始されています。今後延伸される2・6 kmは、暫定2車線で整備を進め、日沿道に組み込まれる将来は、4車線化が予定されています。

## 大館能代空港に向け延伸 大館南I.C. 櫃崎地内



## 新直轄方式で建設 大館北I.C. 小坂J.C.T

大館北インターチェンジ(仮称) 小坂ジャンクション間は、総延長が約14・5 kmで、大館市側は12・6 km、小坂町側が1・9 kmとなっています。

大館市側は商人留地内の大館北インターチェンジと接続され、小坂側は小坂インターチェンジから碓ヶ関方向に約6 km地点の東北自動車道と接続されます。用地買収は4車線で進められますが、工事は2車線分が予定されています。

このルートは山地を通るため、路線の70%以上がトンネルと橋りょうで構成されます。トンネルは5カ所(合計延長9・5 km)、橋りょう7カ所(同1 km)の予定です。総事業費は840億円。国が4分の3を、県が4分の1を負担して無料道路を建設する「新直轄方式」で整備されます。工事は、国土交通省から日本道路公団が委託を受け施工されます。

新直轄方式は、東北地方は7区間131 km、全国では27区間699 kmが指定されています。大館小坂間は、全国で最初の起工式となりました。